「大阪ものづくり優良企業賞 2026」受賞企業への
皆川健多郎審査委員長メッセージ

『大阪ものづくり優良企業賞』は、今回で 18 回目を迎えることができました。

今年度は、書面審査の結果、43 社を「優良企業賞」に選定しました。また、書面審査で特に評価の高かった企業を対象に、企業訪問とプレゼンテーションによる最終審査を行い、「最優秀企業賞」1 社、「夢・未来・ORIST 賞（(地独）大阪産業技術研究所理事長賞)」1 社、及び「審査委員特別賞」2 社を選定しました。

最終審査では、生産用機械器具製造業や金属製品製造業等のノミネート企業の中から、審査委員全員の合意により、卓越した精密加工技術・ノウハウと一貫生産体制を強みに、高精度歯車や精密ボールねじの製造を通じて、工作機械から半導体製造装置、ロボット、航空宇宙分野など幅広い産業を支える株式会社オージックを「最優秀企業賞」に選定しました。

また、技術の将来性を評価する「夢・未来・ORIST 賞」には、各種ウレタンフォーム等から断熱材や緩衝材を製造するメーカーで、これまでに培った技術やノウハウを基盤に、新たな知見や技術を取り入れながら新製品開発にも意欲的に取り組み、今後のさらなる成長と発展が期待される株式会社大番を選定しました。

さらに、優れた製造技術と長年蓄積されたデータ、最新の知見を融合し、流体の特性や用途に応じたカスタムメイドのスパイラル式熱交換器を製造する株式会社クロセと、冷間プレスによる鏡板製造のパイオニアとして業界をけん引しながら新たな事業展開にも意欲的に取り組んでいる株式会社北海鉄工所の２社を「審査委員特別賞」に選定しました。

不安定な国際情勢を背景とした原材料・エネルギーコストの高騰や人手不足の深刻化など、製造業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。しかしながら、今回の審査を通じて、これまで培ってきた高い技術やノウハウを基盤に、創意工夫と挑戦を重ねながら新たな価値の創出に取り組む企業の姿に触れることができました。大阪のものづくり企業が有する優れた技術力と、その強みを活かして新たな展望を切り開く変革と挑戦への力強さを改めて実感したところです。

18 回目を迎えた当顕彰事業の受賞企業数は延べ 1,097 社となり、毎年多くの優れた企業が選定されています。このことは、大阪府内に高度な技術力と旺盛な挑戦意欲を持つ中小企業が数多く存在し、脈々と活躍していることの証であり、本賞の意義を改めて認識する機会となりました。

今回受賞された企業の皆さまには、大阪を代表するものづくり中小企業である「匠企業」として、その卓越した技術力や企業力をさらに磨き上げ、新たな挑戦を重ねながら一層の発展を遂げられることを期待しております。ここに改めて心からの祝意と敬意を表します。

大阪中小企業顕彰事業審査委員会　審査委員長　　皆川　健多郎
（大阪工業大学情報科学部データサイエンス学科 教授）